

平成26年度第3回さぬき市行政改革推進委員会 会議要旨

日時	平成26年12月25日(木)9時30分～11時20分
場所	さぬき市役所3階 302会議室
出席者	[委員] 計11名 奈良委員(会長)、石塚委員、入野谷委員、植木委員、宇山委員、木村委員 佐藤委員、高嶋委員、藤井委員、真鍋委員、頼富委員 [事務局] 計4名 総務部:穴吹部長 議会事務局:十河局長 総務部政策課:向井課長、原田係長 [傍聴者] 1名
次第	1 開会 2 会長あいさつ 3 議事 (1)さぬき市行政改革実施計画(平成27年度～平成30年度)について (2)その他 4 その他 5 閉会
配布資料	・次第 ・資料1 さぬき市行政改革実施計画(平成27年度～平成30年度)素案 ・資料2 第4次行政改革実施計画策定に係る取組項目一覧

<内容>

◆さぬき市議会政務活動費について

前回会議時において質問事項であったさぬき市議会政務活動費について説明。

◆質疑・応答及び意見交換(○:質問 ⇒:回答 ◎:意見・提案)

○政務活動費の支出に対するチェック機能はどうなっているか。

⇒議長に対し提出された収支報告書を議会事務局の担当が「政務活動費の使途基準運用指針」に基づいてチェックを行っている。なお、公文書となるため所定の手続きを行えばいつでも公開できる体制となっている。

○収支報告書のチェック時において、領収書等で認められないケースはいくらぐらいあるのか。

⇒領収書添付の義務付けが制度化された当初は多々あったが、ここ2、3年はほとんどない。

◎月額25,000円は市の財政状況を考えると多いのではないかと思うため、改正に向けて検討してほしい。

◎若い世代や有能な人材が議会に参画しやすいように夜間議会や日曜議会等も検討してみてはどうか。

◎議会に選出されたからには相応の活動をして欲しい。また、市内での活動に対する費用の支出は必要ないと思う。

◎議員定数が1名減となっているが2名減が適当ではないか。

◆さぬき市行政改革実施計画(平成27年度～平成30年度)について

次期行政改革実施計画素案の内容を説明。

◆質疑・応答及び意見交換(○:質問 ⇒:回答 ◎:意見・提案)

◎P1の「(3)行政改革の必要性」の部分を表題も含めより積極的な表現に修正してほしい。

○給食費などの滞納分の徴収に際し、公的な機関を使うことは出来ないのか。

⇒年間数件であるが債権管理室において支払督促を起し徴収した事例はある。

◎厳しい財政状況の中でこそ補助金を廃止する基準みたいなものが必要なのではないか。

⇒補助金については、「さぬき市補助金見直し基準」に基づいて随時見直しを行っており、支出の際には、実績報告書を厳正に審査し、市として必要なものに限り交付しているが、より取組を着実なものとしたい。

◎「⑦-2 人事評価制度の導入」とあるが、誰が誰を評価するのか。

⇒人事評価については、過去に管理職については行った経緯がある。一般職については、まずは人事評価の制度自体の研修を行い、評価方法の検討ともに平成27度以降の導入を検討している。

○「①-9 観光収入の確保」であるが、より高い目標数値を検討していただきたい。また、取組内容についても、情報発信だけでなく、例えば観光キャラバン隊による大都市圏等へのPR、外国人観光客を対象とした案内表示、国際交流協会の設立、廃校となった校舎を活用した観光施設の整備等といった積極的な取組を検討してもらいたい。

○採用試験の出願届などの行政手続きのインターネット活用といった取組を検討していただきたい。

○ファミリー・サポート・センターの、まかせて会員のなり手が少ない原因は、報酬の低さが考えられる。

◎「③-4 職員提案の募集」の成果指標である応募件数の目標数値が低いように思われる。例えば提案月間を定めて積極的な提案を啓発するような取組を行ってはどうか。

⇒消極的な数値という見方もあるが、過去に募集を行った件数を参考に当面の目標数値を設定している。ご提案のあった提案月間を含めてより積極的な啓発の取組を検討したい。

○職員の意識改革には管理職が部下の意見を聞ける体制になっているかどうか重要と思われる。職員をその気にさせる何がしかの前向きな取組が必要だと思われる。

○さぬき市も合併以降人口減少が進んでいるが、課の統廃合はここ何年来行われていないように思われる。課を統廃合することにより職員の弾力的な運用が図られ、人件費の削減につながると思われるため、組織の大胆な改革が必要なのではないか。

○「(3) 行政改革の必要性」で全庁一丸となつたとあるが、議会は必要ないのか。

⇒議会から意見を伺うことはできるが、本実施計画を進めていくのは行政の立場で進めていくものである。

○研修時の講師だけでなく、電算関係の知識や技術を持った民間経験者の活用を検討してはどうか。

○「⑧-6 公共施設の利用の改善」で公民館や廃校になった校舎も対象に加えてはどうか(空き家を含む)。子育て中の親の交流の場として提供し、少子化対策を行ってはどうか。

⇒「④-3 施設配置の適正化」で、施設の適量化と管理運営の最適化を図る取組を進めることとしており、その中で来年度決定される公共施設再生基本計画において公共施設の有効活用を検討中である。

○「⑥-1 借入額の抑制」とあるが、今までどういう借入をして、どのように改善していくのか。

⇒借入時の据置期間をできるだけ減らして利子負担を減らすという部分のことだと思われるが、再度確認する。

○「⑧-2 窓口取扱時間の拡大」とあるが実施されるのか。本庁以外で開庁してほしいという要望はないのか。

⇒27年度から年度末・年度初めの日曜日に窓口を開庁する予定である。要望を含め、支所の開庁については確認する。

○外国人にさぬき市の観光スポットを見学していただき、どんな感想を持ったか等を生かしていく取組として、国際交流協会の設立を要望したい。

次回は3月いずれかの木曜日とする。